

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	足部リスフラン関節損傷に関する後ろ向き研究
研究責任者	聖隷浜松病院・東前橋整形外科病院 整形外科 浮田 大貴
研究実施体制	足の外科、整形外科、スポーツ整形外科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2030年12月31日
対象者	2013年4月1日から2030年12月31日の間に聖隷浜松病院整形外科・スポーツ整形外科・足の外科に「リスフラン関節損傷・リスフラン関節脱臼骨折・リスフラン靭帯損傷・足根骨骨折・中足骨骨折」で通院または入院治療した患者さんです。
研究の意義・目的	足の甲を形成する足部のリスフラン関節における損傷は、リスフラン関節脱臼骨折から Subtle Lisfranc Injury といわれる微細な損傷まで多岐に渡ります。これらの構造は、足のアーチを維持するうえで非常に重要な役割を果たしており、扁平足等の合併症・後遺症を引き起こすことがあります。 脱臼骨折から Subtle Lisfranc Injury に至るまで治療経過を後ろ向きに調査し、リスフラン関節損傷の診断と重症度評価及び治療方法について新たな知見を得られることを目的に研究を行います。
研究の方法	対象患者さんの年齢や性別、受傷機転、手術記録、画像検査等の診療録を調査します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 整形外科 (氏名)浮田大貴・滝正徳・伊東夏央 TEL:053-474-2222(代表) 整形外科外来 9:00~17:00 平日